

# 日本体育大学大学院

## 令和8年度入学者選抜【出題の意図】

研究科・課程	保健医療学研究科・博士課程
コース	運動器柔道整復学専攻
実施期	I期試験
試験科目	筆記試験（英語）

### 【出題の意図】

本問題は、New England Journal of Medicine（2022年）に掲載された急性（新鮮）アキレス腱断裂の多施設共同無作為比較試験を題材とした英文和訳問題である。アキレス腱断裂は柔道整復師が臨床現場で頻繁に遭遇する外傷であり、現在も観血療法（手術治療）と保存療法のいずれが優れているかについて議論が続いている重要なテーマである。観血療法では再断裂率は低いものの、手術後の癒着による可動域制限、創部感染、外観（瘢痕）の問題、神経損傷などの合併症リスクがあり、一方保存療法では再断裂率がやや高いという課題がある。本研究では、これらの複合的な要素を総合的に評価した結果、保存療法の専門家である柔道整復師にとって極めて意義深い「手術が必ずしも優れているわけではない」という科学的エビデンスが示されている。受験者には、最高水準の研究手法である多施設 RCT を正確に理解し、単純な優劣ではなく総合的なリスク・ベネフィット評価に基づく治療選択の科学的根拠を学術的に表現する能力を求める。これにより、博士課程で学ぶために必要な専門知識、研究リテラシー、国際論文を読むための翻訳・理解だけでなく根拠に基づく実践能力（EBP）を包括的に評価することを目的としている。